

世界の主な地震

令和元年（2019年）10月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

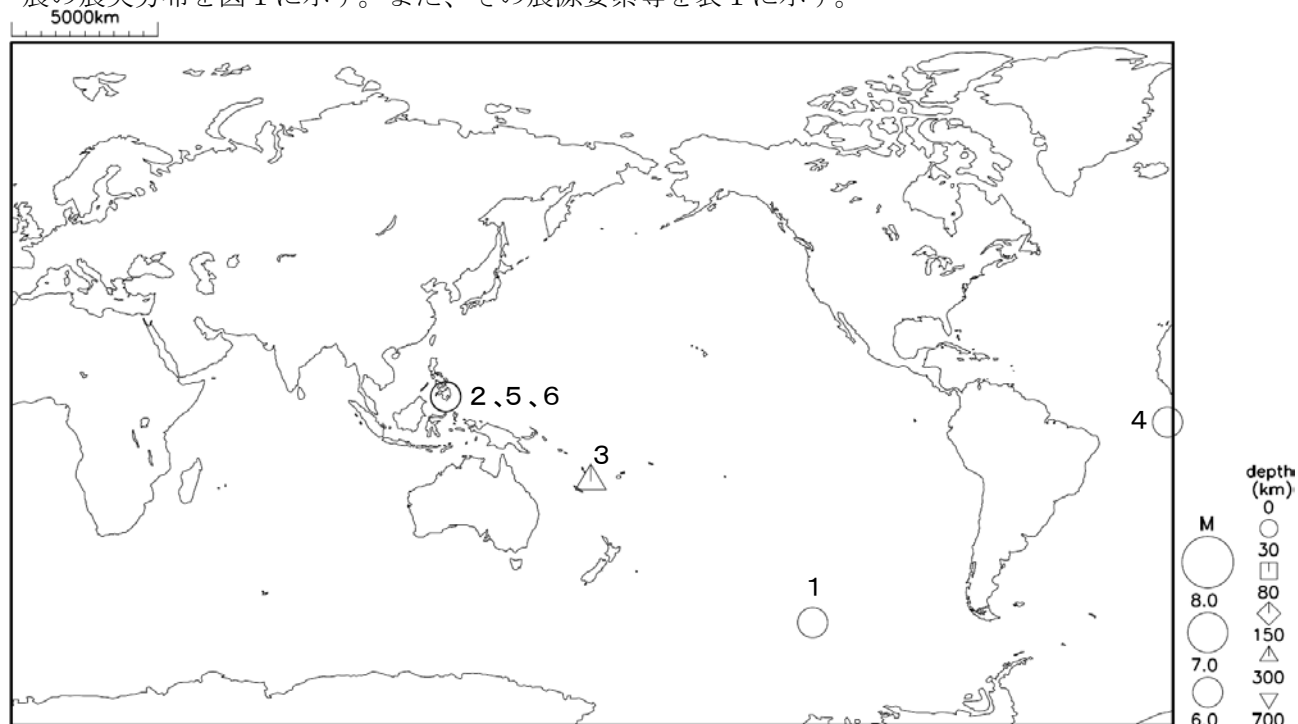


図1 令和元年（2019年）10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和元年（2019年）10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	01日12時56分	S55° 55.0′	W122° 32.3′	10			6.0	東太平洋海膨南部			
2	16日20時37分	N 6° 42.7′	E125° 00.2′	14			6.4	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者7人等	○	
3	21日11時52分	S19° 01.1′	E169° 29.2′	231			6.4	バヌアツ諸島			
4	24日01時08分	S 1° 03.2′	W 13° 49.5′	10			6.3	アセンション島北方			
5	29日10時04分	N 6° 48.0′	E125° 02.4′	15			6.6	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者12人等	○	
6	31日10時11分	N 6° 54.4′	E125° 09.2′	10			6.5	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者10人等	○	

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2019年11月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。